

# 広報かわにし

発行所	川西町役場
発行人	川西町 吉作 幸風 5
編集人	金子 南 1
印刷所	日部 1
印刷代	10月
定価	10月
人口	10月
男	7,754
女	7,588
計	15,342
世帯数	2,761

## 町のドル箱国鉄資産税

### すでに二億七千万円 実現した課税の夢

千手発電所が創立されて二十周年にあたる。正しい名称で呼ぶならば、日本国鉄有鉄道東京給電管理事務所千手発電区。それは、国鉄が東京を中心とした関東一円の電力供給源として重視するばかりでなく、固定資産税の大口財源としてわが町の進進に切り離すことのできない存在といえるだろう。

そこで、課税実現のいきさつを中心に、税収面のあしあとをふりかえってみよう。

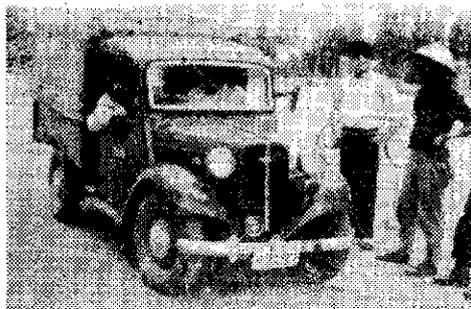
話は九年前にさかのぼる。シャープ勧告(昭和二十五年)にもとづいて、わが国では税制の大改革が行なわれた。従来の土地、家屋税に償却資産(機械装置や水路隣道など)が加えられて、新しく固定資産税が生まれたのである。この改革によって一般会社の償却資産は課税の対象となり、外丸村の日発や秋成村の東電をはじめ、民間発電所の所在町村には多額な金

が入ることになった。このとき、「国鉄なるがゆえに課税されない」という不合理をついてたちあがったのが千手町だ。中村町長(現川西町長)や議会が中心となり、小千谷町などと協力して猛運動を展開した。この結果、国鉄に課税することなど思いもよらなかったのにその夢が実現して、昭和二十八年年度から税収が得られるようになったのである。きわめて困難なこの運動がみごとに実を結んだカゲには、関係者のたいへんな苦労があったことを忘れてはなるまい。

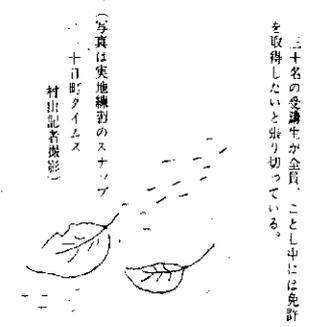
現在、千手発電所の建物は四億九千万円に評価されている。町全体の家屋の課税標準額は二億八千万円だから、発電所が全体の六割以上を占めているわけだ。

合併前の関係町村分を合算すると、七年間で町に入った金は二億六千九百七十七万円。大規模償却資産、非木造家屋(発電所)、納付金、その他の土地家屋など、年度別収入合計額は次のとおりである(小千谷発電所の関係分も含む)

昭和二年 四五・二四四万円



「栄橋」の青年学級に、自給・コメが生まれたのはこの日の秋田中野三郎氏を講師に、毎週一回講話と交通法見学の会がなされた。学級生のひたむきな努力で、早くも実用段階に入ったが、編組用の自動車は町民から集められた。(全農機上士)が提供してくれた。



(写真は栄橋建設のスタッフ) 二十名の若手青年が、この中には免許を取得したいと張り切っている。 十日町タイムス 村田記者撮影

赤谷のサイレンは大きな音でうなる。昭和十六年の春、部落出身の成功者が寄贈してくれたものから二十年……。人の世のへんせんをよそに、雨の日も風の日も時を知らせている。ところが、このサイレンもくたびれてきたという。いま部落ではどうしたらよいかを協議中だ。さてそこで、このサイレンは赤谷だけのものではないことを強調したい。ハラの虫がグーと叫ぶころ、仙田の里にオヒルを伝えてくれるからだ。火事や災難があるといちはやく知らせてもくれる。よく手入れをして、これから元気なうなり声をきかせてほしいものだ。(写真は赤谷のサイレン 撮影……小川広一)

のメシを食ってみることはない。何よりも心配なのは交通事故だ。町からの出かせぎ者で、まいとし数人の死傷者が出ていることを存じだろうか。九百万の人波をぬって無数の車がひしめき合い、ワキ見すらできない現状ではちよっとの不注意でも命を失う。よくよく気を付けてもらわねばならぬ。

▲冬働きとはいっても、最愛の妻や子を残して旅立つのはたいへんなことだ。それなのに心の底には安外よからぬ虫がひそんでいるかもしれない。「一里はなれりや何とかだ」からとて、都の花にあてがれてもらっては困る。

### 「栄橋」に決まる 開発さんが入選

信濃川にかけられる橋の名が、

昭和二九年 三六・五二二万円  
昭和三〇年 二九・三八七万円  
昭和三一年 二五・二〇五万円  
昭和三二年 四五・九三八万円  
昭和三三年 四四・一七〇万円  
昭和三四年 四二・七四四万円  
合計 二六九・一七〇万円

栄橋(さかえばし)に決まった。期成同盟会ではさきに橋の名を募集したが、百五十人から九千三百の橋の名案が集まった。第一次審査で六点が選ばれ、これをさらに県が審査したところ北村知事が、「平凡ながら、今後の土地の飛躍を象徴する栄橋がよかろう。」というので栄橋に決まったもの。入選、佳作ともに受賞者は次のとおりだが、応募者二名以上の橋名は抽せんを決めた。

☆入選 (賞金三千元)  
栄橋 十日町市上新田 開発とし

☆佳作 (賞金二百円ずつ)  
◎要有橋 米山 勝(十日町) ◎要有大橋 斎藤寿美翁(永久公舎西) ◎魚沼大橋 登坂 茂(岩瀬) ◎協和橋 斎木みよし(十日町) ◎新大橋 俵山貞義(十日町)

## 町づくり

出かせぎと生活文化 出かせぎのシーズンに入った。忙がしい農作業が終わると休む間もなく、七百人に近い人たちが町を離れてゆく。心から「ごころうさん」と申しあげたい。

▲ことし初旅の人もある。はじめての旅はだれもがうら悲しいものだ。たそがれて上野の山が見えるころは喜びと不安が入り交じる。しかしもっとつらいのは仕事に入ってからのごときにはたまらなく涙をさそうこともある。「かわいの子に旅をさせる」といわれるのは、つとめが人間形成の面に大きな役割を果たすからだ。他人

▲冬働きとはいっても、最愛の妻や子を残して旅立つのはたいへんなことだ。それなのに心の底には安外よからぬ虫がひそんでいるかもしれない。「一里はなれりや何とかだ」からとて、都の花にあてがれてもらっては困る。

▲来年度のグループ学習が、出かせぎ帰りの青年たちを待つわけだ。旅先でも、環境や目的の共通する人とは心が合うだろうから、ときときは町づくりの情報交換をして話し合い、良い面をできるだけ多く学んでくれることをねがう。

▲「山の中とはいへ常識に富み文化面への欲求が盛んだ」と、遠来の客が驚くのは、出かせぎ者のもたらす生活文化に、あずかっていることを見のがすわけにゆかぬ。待ちわびて冬に耐えるわたくしたちに、春のいぶきを注いでくれるのはあなた方。どうかお大事にいらして下さい。



# 橋中に自動車を寄贈

## 東京の丸山伴四郎氏が

橋中学校(杵淵新治郎校長)に自動三輪車が贈られ、本月中旬はるばる東京から学校入りをする木暮出身の丸山伴四郎氏が、「子弟の教育に役立ててほしい」と寄贈してくれたものである。

丸山氏は、東京でタクシー教習台を持つ神和交通(本社は足立区)の常務取締役だが、ほかに自動車練習所(荒川区)も経営するといった成功者。これまでにも学校建築やピアノ購入など、ことあるごとに大口寄附してくれた篤志家で知られている。

話のおきたきっかけは、運転免許を習得のため丸山氏を頼って上京する村の若い衆に、氏が日ごろから心を動かされていたこと、

教育課程の改訂で産業技術面の教育を痛感した学校側が、幼少から同氏と親交のある山家誠二氏(木暮)を通じて、「自動車ほしい」と訴えたことからだった。

子弟の教育に専心

### 仙田小にテレビ

#### 増田さんが寄贈

仙田小学校(加藤越郎校長)に十七インチの教育用テレビが寄贈された。贈り主は、素封家として知られる室島の増田克治さんだ。増田さんは、以前から教えきれないほどの多額の金品を寄贈され、旧仙田をはじめ、同校の教育上に著しく貢献されている人である。

加藤校長の話  
懸案のテレビが、増田さんのご

★定期貯金 まとまったお金をお預けになるには、もつとも有利な貯金です。六ヶ月たてばいつでも払いもどせます。六ヶ月以後は普通の貯金をしているのと同じで、しかも定期ものと同じ高い利率がつくわけですから。六ヶ月たてばいつでも払いもどせます。六ヶ月以後は普通の貯金をしているのと同じで、しかも定期ものと同じ高い利率がつくわけですから。六ヶ月たてばいつでも払いもどせます。六ヶ月以後は普通の貯金をしているのと同じで、しかも定期ものと同じ高い利率がつくわけですから。

郵便貯金にはいっさい税金がかかりません。

厚意で実現できたのはうれしい。さっそく授業の面にとり入れるべく企画したが、十分に活用してよその学校にヒケをとらないようにやってゆきたい。

### 青年建設班 研修終わる

川西町青年建設班の解団式(九月十五日)が行なわれ、二カ月の研修を終えた青年たちが元気に巣立って行った。

七月十日に結団式をあげて以来、農業改良課をはじめ郡や町の関係者を講師に、農業センターで合宿研修が続けられていたもの。新農村の指導者に必要な一般教養のほか、測量の実習や機械器具

### アンテナの復活を望む

とにかくおびたい活字のはん蓋である。ありきたりのことでは、不感症になつている現代人の注意を引くことはできない。したがって編集者も執筆者も

### 町の声

「どうしたら読ませることができるか」ということとばかりに頭を悩ます。印刷する以上、読んでもらわねばならぬ側としての苦心は、「広報かわにし」も大新聞社のそれと変わりがない。

目を通して「アンテナ」にいたったとき、わたしは編集者の有能に感服したものだ。役場の掲示板をかき出したぞと、見る間に、ヒラリと川西町の風俗写真に

の取り扱いは、二カ月にわたって高度な知識技能を習得したが、この地域での進展には、これらの青年たちが中心的な役割を果たしてくれることにならう。

農閑期をねらって実施したのに受講者は思ったよりも少なく、また、災害などのため途中で欠けたが、それだけに終始真剣な態度が見られたのはうれしかった。

### 住民の理解と協力を

補導員として二カ月間、受講生と起居をともにした屋名四郎氏は次のように語っている。

部落や町のみならず、あたたかい心で受け入れてくれることによつて、二カ月間の勉強が生かされることになるでしょう。

### 庁内めぐり (11)

#### 国保衛生係の巻

##### 【その二】

押木良作氏(田戸)は筆者にとつてなつかしい人。かつては教職に在ったし、仙田村青年団はなや

組合だまり「三十数種を読んで見ると、何となく食うようなものばかり多いことか。ホクトツな川西町民の、横顔のスケッチに代わるものとして「アンテナ」の復活を望むや切である。

(中仙田・へらす日)

#### 答 当分は現状のまま

できるだけご期待に副えるように、あらゆる面から検討を重ねてみました。しかし、これ以上の連載ものを設けることは、B五版四ページという現在の規格からいって無理でした。

いずれ適当な時期に、新しい企画で復活することを考えてはおりますが、当分の間いまの紙面構成を続けてゆくつもりです。ご了承くださいます。

(編集部)

かなりしころは中心的な役割を果たしてくれた人だ。オモテに立つことをきらいな世話役型の人となりかうらやましい。温泉めぐりの悪友だったこともある。

高橋重英氏(室島)はアバンのチャンピオンだった。「ほしがりません勝つまでは」のころ、やまと島根のなでしこがずいぶんあこがれたらしい。それだけに幾たびか死線を越えてきたこの人は、カドのない円満な人格者といえる子防衛生にとりくむ「仕事のオニ」といった感じがする。

田中清美さん(下原)は、うますたためます仕事に精出すというタイプで、働くことの中に魅力を感じさせてくれる女性。心身ともにふくよかなこの人は、女子職員のリダ格でもあるようだ。趣味は生け花、池の坊は信伝の腕前もっている。

大溪 紀さん(おたにのり)は上町は職場のミス。「おとなしくやさしい」とはいっても、どこかに線の強さがある人だ。ひっそりと映画や読書にひたるのが趣味だといひ、あまりオシャベリはしない。日本人形を思わせるこの娘さんは、うれいがある表情でときおり目を伏せることがある。

岩田トクさん(十日町)はフアイトのある保健婦。白衣姿のよくにあう人だ。若年ながら業務の全般に、昼夜をわかつた活躍ぶりを示してくれる。よく学びよく動くかの女は社会教育の協力者でもあり、根はやさしいキャンドルサーピスに徹している。

◎この係の職務分担は、本紙の第五号に掲載してあります。



テレビに見入る子どもたち  
仙田小学校にて 佐藤教諭撮影

# 出かせぎの道しるべ 求人がうわ回る現状

## 職安の經由が先決

出かせぎを十年続けた人は、先で五年間暮らしたに等しい。きわめてあたり前なことだが、見かたによっては軽視できないものが含まれている。とくにそれが青年の場合は、人格の形成面にも大きな影響を与える。働き先は慎重に決めなければならないだろう。

職業安定所の統計によれば、豊作の年には出かせぎ者が多いという。なぜその年かというキメ手はないが、食うにこと足りると「オレもひとつ東京へ…」という物見遊山的な欲求が起るのはいなめないようだ。さればとて、安易な考えで出かけたのではとつかえしのつかないことにもなるというもの。そこで、ことしの傾向や求人先にスポットをあてて、問題の幾つかをとりあげてみた。

## 見通しは明るい

就職希望者よりも、求人者の数がうわ回っているのが現状だ。したがって、縁故関係で小さな所に勤めるよりも、数ある求人者の中から希望の職種や条件のよい所を選ばれるわけ。これは求人者が多いだけに、恵まれた冬働きの多いのは喜ばしい。

ところが、出かせぎ者の約半数が安定所をトンネルにしている。とくに縁故就職の場合は、話し合いだけで出かけるので、万一同時に労災保険が適用されなかった

## 縁故就職でも 職安へ

「オラどこのアンニャは、〇〇の町の世話で東京サ行った」という話は毎年きかれる。何ともほおえましい風景ではあるが、この場合〇〇さんは、①だれとたれを、②どんな条件で③どこに世話した

## ある女教師の手紙

豊作だという年は、不作の年よりお金集めがせつなくありません。天候に左右される農業生産が、技術の助けで一定量を確保できるよ術になると、豊作貧乏の心配がなくなるといえます。でも、ここ当分は米作り農業にひとい波はこないだろうとの話。山村の先生たるもの「ハローニカ買わせようかな」とか、「辞書くらゐ一冊ずつ持たせたい」とか考え出すものです。

教育漢字も八百字ですから、た

といふことを、ひとこととよいから十日町公共職業安定所に連絡してほしい。(人をあつせんするには、必ず職安を通さねばならぬ)

## 東京の求人状況

静岡と神奈川の両県で、ミカンもぎの労働者を募集している。この町にも十六人(男十一・女五)の割り当てがきているが、食事付(月額)で男子六千五百円、女子五千五百円、往復の旅費を支給するのが普通だ。出発は二十八日ごろの予定だが、二十日までたがらうと、必要なことは、強制されても学ばせられたほうがありがたいという村のMさんの話

「おれ、社会に出てから勉強する気になったんですよ。ところが金と暇がないのでね。学校にいたときはなまけ放題で、ほんとにもったいないことをしたな。先生って者は、もったときびしいほうがいいと思ひますよ。」

「ではビシビシ教えますよ。」

「なんぞと早がんでできません。教育は、強制することには違ひないけれど、何が必要なのか、血となり肉となる学習をよく押し見せわめないと、あやまちの多い教育になってしまいます。」

文部省は、学習指導要領を次々と変えてきて、ことしは大々的な変更の通知を出しました。

## ミカンもぎはいかが

東京方面からもたくさん求人かましているが、この中には町出身の成功者がめだっている。一覧表によると、女中、店員、出前持ち、縫製工、運転手、食品関係、配達、雑役などが多く、本人の希望なら永年勤続も可能という所もある。

給与は年令や経験に応じて、月額(手取り)最高一万円から最低三千五百円まで、日給制(平均して三百円程度)のところもかなりある。いずれも往復の旅費を支給するほか、保障制度が完備まで週休制のところが多い。詳細は社(会)係(南雲直秀氏)あてに問い合わせたい。

## 人の子の師たるもの

「お上の近の県道特に川西線は、昔のおもかげを一変したようだ。これまでにした関係者の苦心を知らずに、他県人に指摘されてはじめて気づいたということは、はなはだ申しわけないことである。しかし、統計的にはまだ新潟県の道路整備は、慎重に衆知を集めて、国民の補償にしても、改良にしても遅れたことでは全国でも屈指だね。親しよも、お上任せでなく、子どもめんとお上をみて、しつけをする親しよでないかと親づからをす。先生任せは危険です。」

S夫君がこう書いています。「秋は、それにあさむしく、どんな災

## ふるさと

七月災害以来約三カ月ぶりで旧県道仁田橋の復旧が成った。次には県道の本工事であるが、おそらくことし中には完了しないという。△新潟県の道路が悪いことは伝統的・宿命的であること、いつも隣りの長野県との対照において聞かされてきたものだが、信州から来るりんと屋敷の話によると、近ごろは少く事情が違わらうらしい。「新潟県の道路整備はすばらしい。舗装しない所まで五・六十キロも平気で出せるという状態は、長野県ではとうてい見られない」と。おまけに「県境を越えたたんに路面が一変する」という点までが、われわれの持っている観念をそっくり裏返しにしたものであったのに、然とした▲さういえば、たしかに最近の県道特に川西線は、昔のおも



かむにし  
俳壇  
金山 柏樹 選

越ヶ沢 辰治  
草に鳴く虫しすまれる夜雨かな  
大倉 洋石  
分校の鐘澄み朝の霧晴る、  
小白倉 基  
●西日中色あざやかに葉鶏頭  
小白倉 凡石  
笑み栗の落ちんとして川の上  
元町 鉄平  
いささかの稲干してある温泉町  
中仙田 遊人  
掃き寄せしカンナの花や秋深む  
俳句も詩です。ふう詠です。内容に詠嘆がなければなりません。説明ではいけません。しかもすっきりしたものを選びます。(柏樹)

## 編集後記

◎町外在住者(川西町出身)で本紙を購読される方が多くなってきました。うれしいことです。

◎知人あてに郵送の場合は二つ折りにし、八センチ以上の帯封を巻いてください。第十号以降の送料は、百グラムまで四円となっております。

◎読書の秋です。うんと教養を身につけましょう。本読む楽しさは夜の長さを忘れさせます。

◎箱刈りが終わってヤレヤレ、ほんのりと苦勞なことでした。祭りはやしのきこえるころはわびしい季節でもあります。

旅人の袖ふきかへす秋風に  
夕日さびしき山のかけ橋  
(新古今集)